

【20代意識調査】緊急事態宣言の発出で、「転職活動が厳しくなる」と感じている

20代が78.3%。「Web面接だけでは、熱意をアピールしにくい」

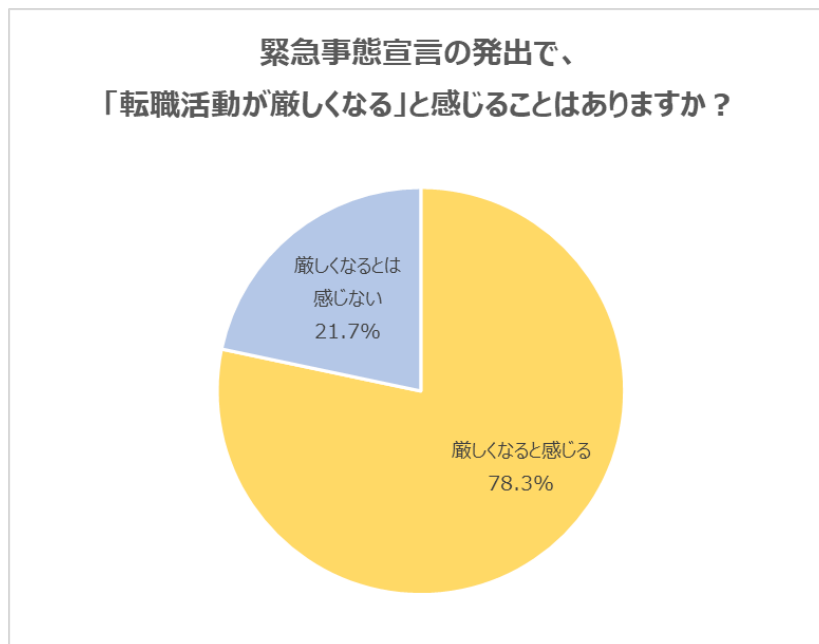
「経済活動の縮小で、採用数が減るのではないか」など不安の声。

株式会社学情は、20代の仕事観や転職意識をひも解くために、アンケート調査を実施しました。今回は、11都府県を対象にした緊急事態宣言を受け（※対象地域は2021年1月21日時点。アンケート調査開始時の対象地域は1都3県）、緊急アンケートを実施しました。78.3%の20代転職希望者が、「緊急事態宣言の発出で『転職活動が厳しくなる』」と回答。「Web面接だけでは、熱意をアピールしにくい」「経済活動の縮小で、採用数が減るのではないか」など不安の声が寄せられました。また、「転職活動に『不安や危機感』を抱く」とした20代転職希望者が90.5%に上り、多くの20代が転職に不安を感じていることが分かります。

【TOPICS】

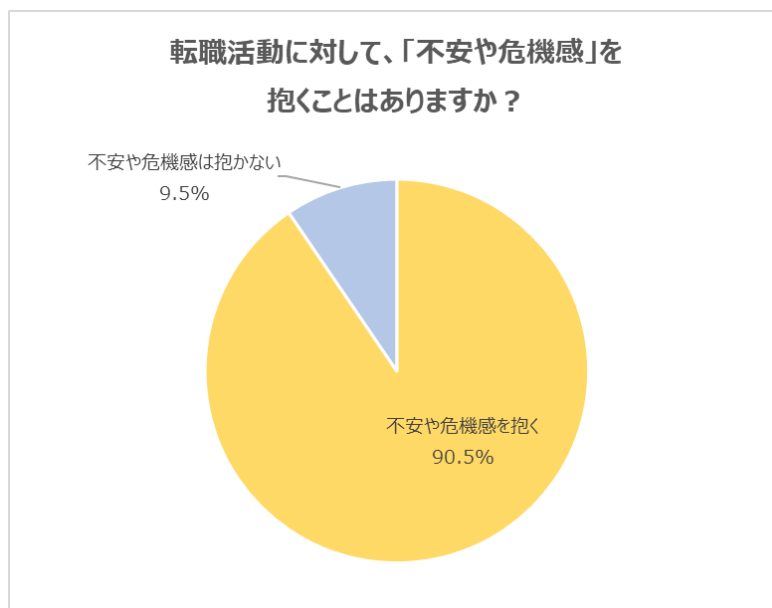
- (1) 緊急事態宣言の発出で、「転職活動が厳しくなる」と感じる20代転職希望者が78.3%
- (2) 転職活動に「不安や危機感」を抱く20代転職希望者が90.5%
- (3) 転職活動で感じる不安は、「希望する企業や業種の内定を得られるか」が、78.7%で最多

- (1) 緊急事態宣言の発出で、「転職活動が厳しくなる」と感じる20代転職希望者が78.3%



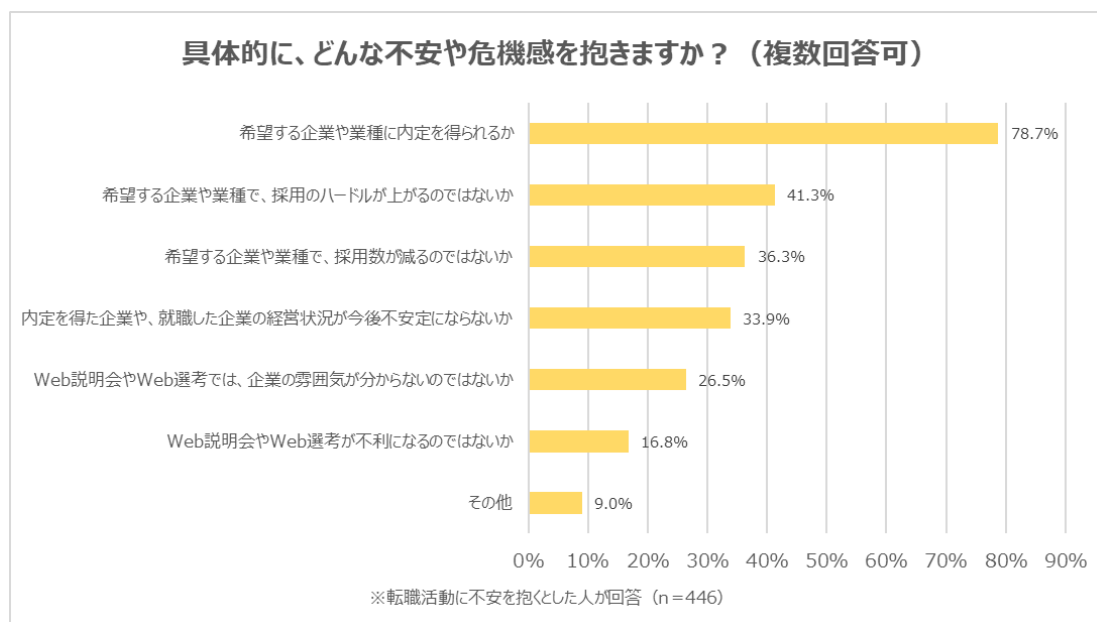
緊急事態宣言の発出で、「転職活動が厳しくなる」と感じている20代転職希望者が78.3%に上り、「厳しくなるとは感じない」21.7%を大きく上回りました。「Web面接だけでは、熱意をアピールしにくい」「経済活動の縮小で、採用数が減るのではないか」など不安の声が寄せられました。「厳しくなるとは感じない」とした転職希望者からは、「希望するIT業界は、採用数を増やしている企業が多い」「オンラインで選考参加ができる機会が増えているので、前回の2020年4月・5月の緊急事態宣言と比較すると、影響は限定的だと思う」などの声が挙がりました。

(2) 転職活動に「不安や危機感」を抱く 20 代転職希望者が 90.5%



転職活動に「不安や危機感」を抱く 20 代転職希望者が 90.5%に上りました。「不安や危機感を抱かない」の回答は 9.5%に留まっています。

(3) 転職活動で感じる不安は、「希望する企業や業種の内定を得られるか」が、78.7%で最多



転職活動で感じる不安は、「希望する企業や業種の内定を得られるか」が、78.7%で最多。次いで、「希望する企業や業種で、採用のハードルが上がるのではないかと」41.3%、「希望する企業や業種で、採用数が減るのではないかと」36.3%と続きます。採用のハードルが上がったり、採用枠が減ることで、内定を得にくくなることに不安を感じている 20 代転職希望者が多いことが分かります。

■調査概要

- ・調査対象：[20 代専門]転職サイト「Re就活」へのサイト来訪者
- ・調査方法：「Re就活」にアクセスしたサイト来訪者に、アンケートのポップアップを表示
- ・調査期間：2021年1月8日～2021年1月19日
- ・有効回答数：493名

東証一部上場

学情

